

【施設状況】

グループ名称	保育園(芋井、青池、清野、西条)							
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会				法人番号	5100005001689		
所管課	主	117000	保育・幼稚園課	副				
構成施設	1517	青池保育園						
	1508	西条保育園						
	1499	清野保育園						
	1506	芋井保育園						
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・青池保育園：鉄骨平屋造 398.45㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・西条保育園：鉄骨平屋造 426.87㎡、定員40人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・清野保育園：鉄骨平屋造 493.02㎡、定員30人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・芋井保育園：鉄骨平屋造 392.40㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 							
施設設置目的	児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童を保育するための認可保育所を設置する。							
基本方針等	長野市保育所設置及び使用条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例施行規則、長野市保育所管理規則に定める規定に従う。							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の実施 ・保育に関する相談、助言の実施 ・特別保育事業の実施 							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会			指定回数	5 回
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年	管理運営開始日 平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
	青池保育園 在園児数	人	20	18	18	14	78%	
	西条保育園 在園児数	人	49	48	42	38	90%	
	清野保育園 在園児数	人	29	29	31	32	103%	
	芋井保育園 在園児数	人	18	16	12	15	125%	
	合計	人	116	111	103	99	96%	
							#DIV/0!	
						#DIV/0!		
(特記事項) 在園児数は、毎年3月1日現在の人数								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の実施 ・保育に関する相談 ・特別保育事業の実施 ・通園バスの運行(芋井保育園のみ) 						
	自主事業							
サービス維持・向上の取組み (広報等)	<ul style="list-style-type: none"> ・園開放や園行事について、子育て情報誌等への情報提供と掲載 ・一時預かりの実施 ・行事に関するチラシ等による周知 ・世代間交流の実施 							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	<p>《青池》玄関に意見箱を設置。個別懇談会(年2回実施)や保護者会、送迎時に意見、要望を聞き取り。年度末に行事等のアンケートを実施。</p> <p>《西条》保護者に対し要望、苦情のアンケートを実施。送迎時などに保護者から要望等聞き取り。</p> <p>《清野》3歳以上児にも連絡ノート配布することとし、保護者からの意見要望の聞き取りなどを始めた。個別懇談会や送迎、入園説明会、保護者総会時に、意見や希望の聞き取り。保育内容、行事、給食などについてアンケートを実施。</p> <p>《芋井》行事等に関するアンケートを実施。個別懇談会や保護者総会、入園説明会等で意見、要望の聞き取り。</p>		
	(3) 調査、会議等の結果	<p>《青池》意見箱への投函なし。個別懇談会では全員に意見の聞き取り。アンケートの回収率は100%。</p> <p>《西条》アンケート結果をまとめ、保護者に公表。送迎時の要望には臨機応変に対応している。個別懇談会で意見聞き取り。</p> <p>《清野》アンケートは昨年よりも回収率が高く、具体的な意見があった。個別懇談会は全員実施し、個別にどのような成長を望むか把握し、個別計画に反映。</p> <p>《芋井》アンケート回収率60%。個別懇談会は、年長児には年2回、他は年1回実施。</p>		
	(1) 良好とする評価	<p>《青池》地域、保護者との協体制度は良好。アットホームで個を大事にした保育は高評価。のびのびとした保育が受け入れられている。</p> <p>《西条》保護者に寄り添った対応や自然環境を生かした遊び。散歩やマラソン等による体力づくり、子どもを尊重した保育が評価された。</p> <p>《清野》耐震工により施設が行事に使えない中、運動会を小学校の体育館で行ったり楽しみ会など実施したりしたことが評価された。その日の様子を直接担任から聞く機会が多いことが評価された。</p> <p>《芋井》夏まつりを平日から土曜日に変更し、参加者が増え、内容も良く好評だった。運動会、楽しみ会等で子どもの成長が見られた。</p>		
(2) 苦情・改善等の要望事項	<p>《青池》苦情や改善等を求める声は特にないが、園児減少による保育園継続を心配する声がある。</p> <p>《西条》特になし。</p> <p>《清野》普段の様子を見る機会があると良い。運動会は、できれば園庭で開催してほしい。おやつ配り忘れがあり、牛乳しか飲まなかったと児童が言っていると保護者より苦情あり。</p> <p>《芋井》特になし。</p>			
《対応措置》	<p>《清野》保育の様子はいつでも見に来ていただいて良い事をお伝えした。運動会の開催についてアンケート結果では、園庭6人・体育館4人・どちらでも良いが10人。園児の状況や保護者の意見を聞いて判断する。おやつは、当番の園児が配膳したが、最終確認を保育士が行っていなかった事を伝え謝罪した。</p>			

4

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	431,000	利用料金	2,182,050	歳入	使用料	12,933,720 ※10/1から3歳以上 児の保育料無償化	使用料	21,546,370
	指定管理料	131,929,000	指定管理料	154,128,390		雑(納付金)		雑(納付金)	
	委託料	2,825,000	委託料	2,825,219		行政財産目的外使用料	行政財産目的外使用料		
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	
	その他収入	13,773,000	その他収入	1,376,006		その他		その他	
	計	148,958,000	計	160,511,665		保育料		保育料	
支出	人件費	142,166,000	人件費	132,299,651	歳出	指定管理料	154,128,390	指定管理料	148,503,306
	設備管理費	2,361,000	設備管理費	1,768,861		委託料	2,825,219	委託料	2,684,291
	備品購入費	4,280,000	備品購入費	4,134,318		需用費		需用費	
	修繕費	2,674,000	修繕費	2,547,546		役務費		役務費	
	光熱水費	5,238,000	光熱水費	4,317,016		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	11,008,000	事業費	8,899,610		修繕費		修繕費	
	事務経費	6,341,000	事務経費	5,735,912		工事請負費	93,467,000	工事請負費	
	本社経費	0	本社経費	0		備品購入費		備品購入費	
	その他	5,291,000	その他	5,278,600		その他		その他	
	計	179,359,000	計	164,981,514		計	250,420,609	計	151,187,597
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益	-30,401,000		-4,469,849		差引	-237,486,889		-129,641,227	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									80.2%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績(うち市内雇用職員数) 園長4(3)人、保育士40(38)人、調理員14(14)人、栄養士1(1)人、バス運転手3(3)人、バス添乗員2(2)人 合計65人	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係団体等と連携し、地域の保護者を対象に子育てに関する講演会を開催するなど子育て支援の実施 ・お茶のみサロン、運動会、ウォーキングイベントなど地域行事への積極的な参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・園開放時に未就園児の保護者に育児相談を実施 ・障害者就労施設からの物品調達や草取りなどの役務調達 ・夏まつりなどの園行事の際、障害者就労施設が参加して、物品販売の場を提供 	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	4	16	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	
合計得点			

評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からのアンケートでは、地域の特色を生かし地域に根差した保育や、保護者の意見や利便性を考慮した行事の開催などの対応が評価されていることから「利用者評価」を「4」とした。 ・玄関へのスロープや温水シャワーの設置など保育環境の改善を行ったほか、保育業務のICT化や勤務体制の検証を行い、業務を効率化や適正な労働環境を整備推進していることを評価し「管理運営全般」を「4」とした。 ・地域の高齢者との世代間交流や小学生との異年齢交流を実施したほか、民生児童委員との連携、小学校や地域の会議に出席することで、地域と一体となった子育て支援をするとともに、積極的な情報発信に努めていることから「地域連携」を「4」とした。
------	--

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	・入所児童の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の回覧板を活用した情報提供や、園開放などによる広報を行い、入所児童の確保に努めている。 ・途中入園を積極的に受け入れることで、園児数の確保を図っている。 	

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による保育事業は、地域の特性を生かし、長年の業務委託により地域と緊密に連携した保育により保護者や地域から高評価を得ていることから、引き続き現在の指定管理者に運営を委託していく。 ・中山間地に近い保育園が多く、将来も園児数の減少傾向により運営が困難となることが予想されるため、管理運営方針について指定管理者と協議を継続していく。
---------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

《青池》世代間、異年齢交流の地域活動事業を積極的に開催。小学校や地域が主催する会議に参加し情報提供を行った。発達支援相談員の巡回指導を取り入れ、気になる子への指導方法を学んだ。雪上運動会など恵まれた環境を生かした保育を行った。園児募集のポスターを作成し地域等に掲示、地域の回覧板でも情報発信し、園児獲得に努めた。
 《西条》地域のお年寄りを招いての食事会や交流会、老人施設への訪問などの世代間交流を開催したほか、園開放を積極的に行い異年齢交流に努めた。保育園独自の献立作成を行い、献立を工夫し食育に取り組んだ。
 《清野》耐震工事により使用できる保育室が一時的に減ったが、遊戯室などを活用し保育環境の維持に努めた。耐震工事に合わせ、保育室内に洗面所、玄関にスロープを設置したほか、プールサイドに温水シャワーを設置するなど保育環境の改善に努めた。
 《芋井》民生委員や保健師との連携、情報交換・情報発信により園開放の参加人数や一時預かりの利用者の増につながった。園開放で未就園児の保護者の育児相談に対応した。異年齢児交流では小学校と積極的に交流し、特に年長児は、七夕、プール交流、給食交流等小学校へ行く機会が増え、就学の準備につながった。

② 業務の効率化に対する取組み

《青池》支援記録システムを活用し業務の効率化を図り、職員の勤務体制の検証を行うことで時間内で仕事が終わられるように努めた。業務分担を明確にし、職員間で協力して業務を行うことで、効率的な業務遂行を行えた。
 《西条》早番、遅番、日勤の勤務体制の定着化し、効率よく時間内に仕事ができるよう情報共有に努めた。行事等の準備は、事前に計画を立て、余裕を持って取り組んだ。支援システム活用し、保育記録、支援計画作成等の作成をした。
 《清野》保育材料の発注や環境整備などの係り分担を明確にし、一人に負担がかからないよう配慮した。文書の保管を廃棄年度別に変更した。パートの保育士に依頼する事柄を具体的に示し保育を進めた。
 《芋井》支援システムを活用し、記録業務をできるだけ時間内でするよう心掛けた。行事計画を早めに作成し取り組むことで、職員会がスムーズに進み、準備の時間短縮につながった。

③ その他

《青池》園内外の研修に参加し保育の資質向上に努めた。
 《西条》駐車場前のフェンス入り口に鍵をかけるなど、防犯対策に努めた。
 《清野》耐震工事期間中、事故なく安全に保育をすることができた。水害を想定して、避難場所に指定されている松代PAまで防災散歩を実施した。
 《芋井》特になし

(2) 指定管理者業務実施上の課題

《青池》園舎の老朽化が進んでいる。園児の確保が困難になっている。
 《西条》中間地域に立地しており、将来的に園児数の減少が懸念される。
 《清野》地域の子どもたちが少なく、入園児の確保は不安定だが、待機児童のセーフティネット機能を果たしていくため、保育・幼稚園課と連絡を密に取って行く。
 《芋井》園児数は少ないが、魅力ある保育内容を工夫する。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

《青池》ほぼ目標の利用率に到達できた。保育内容の充実を図るための研修に参加できた。風通しの良い職場の環境作りを行う事ができた。
 《西条》一時預かり保育から入所につながった。
 《清野》耐震工事期間中ではあったが、途中入園の受け入れに努めた。保育室への洗面所の設置や、玄関へのスロープの設置などインクルーシブな保育に向けて配慮することができた。職員は各種研修会に参加し、日々の保育に生かすことができた。地域に根ざした保育園を目指し、世代間交流や育児相談を実践した。
 《芋井》途中入所の利用者があり、3名の増になった。8月までの一時預かり利用者が多く、未就園児の保護者に貢献できた。9月からは園児の増に伴い、一時預かり事業を行っている保育園を紹介した。職員の資質向上の為、年齢別の研修や保育内容についての研修に積極的に参加した。園外研修で習得した知識を基に園内研修で振り返り研修を行い、職員の意思統一を図った。

② 次年度以降の取組み

《青池》一層の安心・安全な保育に努める。支援記録システムを活用し、業務の効率化に努める。継続して地域、小学校との連携を図る。
 《西条》地域とのつながりを大切にし、一時預かりや園開放を通じて園児の入園につなげていく。小学校との連携を図り、保護者・園児が安心して就学につなげていけるようにする。
 《清野》不審者対応のため、門扉や柵の改修を行う。新型コロナウィルス感染拡大対策のため、新しい生活の仕方を参考にし、感染防止に努める。令和4年の長野県保育大会で、食育について発表をするため準備を進める。災害時のマニュアルをより具体的にする。
 《芋井》保健師と連携して地域の子どもの出生数を把握をし、利用率向上につなげる。未就園児の会に参加し、情報提供していく。子ども達が考えながら楽しく遊ぶことができる、環境設定を工夫する。